

# 時事新報

第二千九百九十七號  
 明治廿四年四月二十二日 水曜日  
 舊曆辛卯三月十四日 (戊寅)  
 出版部 東京市本町二丁目  
 印刷部 東京市本町二丁目  
 電話 午後四時三十分  
 (西曆一千八百九十一年)

## 時事新報の貧富論

近年商況の不景氣に付ては世論の喧しき所されども要するに唯是れ一時の波瀾たるに過ぎず。時勢動盪すれば自ら定まる所に定まる可けれども、維新以來經濟社會の大勢に於て貧富の懸隔は日々にますます甚だしく其運動劇しからざるに似て影響する所は廣くして深し。今日之を論じて事の實際を知りて將來の憂を豫防するは學者の當に勉む可き所なり。時事新報は此に應じ、貧富論と題して本月二十七日より凡そ二週日間の紙上に掲載し、目下の形勢、貧富次第に相分るる所以の原因、その勢の容易に留む可らざるの事情を詳にして、最終に聊か之を緩和して安寧を維持するの法を論じて以て局を結ぶ可し。

## 石版附録 付投票募集

本社社運の盛衰を視し、今度石版附録の一大附録を發行して讀者に配布せんとするに當り、其書を本社に由て定むるは興味薄ければ讀者の好向に同んで之を定むる事としたり。由て讀者は當今我國政治家中に付石版附録の背負ともすべき一人一名を指定して來る廿五日までに本社に送付ありたし。左れば此投票の多數が如何なる人なる歟。開票の上、來る廿七日の紙上に報告し、此政治家の背負を石版附録とあして來月中旬の新聞に報へて讀者に配布すべし。

## 時事新報

### 牧羊業

輸入品中の最多類あるものは綿絲、金巾類を第一として其次に來るものはフナナル、羅紗、フランクット等の毛織物。一昨二十年中毛織物の輸入は毛メリヤス等を別にして六百七十七萬三千餘圓、諸機械の輸入大からざるに非ず。種類も亦少からざれば之を毛織物に比すれば僅か幾十萬圓の差違ありて實に我國貿易上の權衡に關するものと容易からず。單に其金額を見ても之が輸入を防止せん事も願はしきのみか。從來我國より輸出の品目甚だ多からざるが故に一期輸出重要品の實行拂々しからざる様のみどもあれば直ちに權衡に著るしき不平均を生じて其理合せに當惑するものと珍しからず。我實の不利不安心あれば何とて輸出品の數を増し量を増して全體に重きを加へんとは經濟家の常に苦慮する所あるに現に右毛織物の如き輸入の第二位を占め、斯して年々に其高を増加するは内に顧みて遺憾の事相違ふべし。若し日本の風土氣候にして所産牧羊業の實績を期す可らずとせば即ち止まん可も然らざる限りは力を盡めて之が進歩を圖り夫の巨額の輸入を防止して我が國富を増加するの肝要なる可し。

最大久保利達氏の所稱、羊のしどき始めて羊種を海外に求め下地に牧場を設けて飼養を試み及び各府縣にも

貸付せしが當時羊種は未だ本邦の氣候風土に歸化する可しが爲め多くは相離れ、飼養法の宜しきを得ず。今に至りて能く蕃殖すも雖も總て牧羊に従事したる者は何れも失敗の談のみにして十年の經歷一として満足ある成績なければ今に至るまで世の實業家も殆んど之を見捨てたるもの如く牧羊と云へば一も二もなく失敗の意味を含蓄するに至りしむる遺憾余れ然りと雖も此等の起伏消長は必竟世態の常にして特り牧羊のみに非ず。例へば彼の嶺山事業の如きも其始め多くは失敗を取り或は空境に金を投じ或は尙ほ早きに採掘する等種々の弊誤の爲めに世に山師と云へば架空の計畫を企つる者の異稱とあり。偶々利を合むの嶺山と雖も疑心暗鬼を生じて之に應ずるの氣色は亦く其狀恰も義に懲りて罪を吹くの觀ありしが學術の漸く進歩するに從ひ近來に至りては山師必ずしも山師とらざるの時運に赴きたるものとされば牧羊事業と雖も亦容易に見捨つべきものに非ざるが如し。

現今我國にて飼養する羊は總數凡そ三千頭みれより得る所の羊毛は二萬封度に滿たず。然るに東京千住製絨所を始め近來はフランクット、フランクット又は毛絲等の製造所も起りたれば年々消費する所の毛量は少くも百三十萬封度内外にして國産の供給は固より以て其一部分とす。不足は猶ほ自今毛織事業のいよゝ開進するに從ひ材料の需要はますます多きに至るものとされば如何に我國の牧羊業は偉大の進歩を遂げざるにせよ。決して販路を得ざるに苦しむと云ふべし。其反對に早く之を振興せざるに於ては外國の輸入獨り増加して益々その發達を鈍くするものと云ふ可し。左れば此要項に投せしが爲め爰に牧羊に従事するものとせんに、羊百頭以上(羊一頭二圓少餘にて求め得らるべし)を飼養すれば之に要する費用は其土地の状況、牧場の長否及び飼料を得るの便否等によりて一定の費用を立つるものと能はざれば一頭に付き平均一年七十圓を要するものとせよ。充分なるべし。而して之より收獲する毛量は平均五封度と看做し一封度の代價を二十五圓とすると、一頭二十五圓にして又その肥養料を合算すれば更に三十圓以上の収入を増すべし。況んや之を屠殺するときは其肉代も亦少からざるを尤も中途にして斃死する等の損害も亦自から免れ難き所あれば算用通りの利益は多少傷くるものとある可きにもせよ。之を要するに決して引合はざる事業には非ずと云ふ蓋し從來牧羊に従事して失敗を取りたる所以は多くは此斃死の爲めありと云ふ。雖も其斃死とても前記の通り飼養法、管理法及び歸化の度合等種々の不都合より生じたると云へば今日に於ては大に其成就の面目を草率漸次進歩の途に向ふべきや又疑を容る可らず。失敗は成功の姉なり。而して今や正に成功の時代に邁進したるものと知るべきのみ。種々飼養は方今の牧羊業中最も利益ありと稱せらるる所なれども牧羊も亦決して容易なきに非ざるや此の如く

官報

○大藏省管帳第十一號  
 郵路第三十八國立銀行大坂支店ノ儲明治二十四年四月三十日ヲ以テ閉鎖ス  
 明治二十四年  
 大藏大臣伯耆松方正義

## 官報

○強固なる政府を作る一法 内閣の組織は強固ならざる可からず。今度内閣の更迭あらんとするに際し、閣員に當路者に其覺悟あるべきは勿論あるべけれども、兎角に情實ある者が先に立つの例あれば果して非常の英斷あらんとせば、近頃政府の強固なるを得ざるは政府の爲すべし。仕事の内閣の爲め不平を生じ、政府の人にして多分に過言却て其閑居の爲め不平を生じ、政府の人にして政府を惡し、嫌に言ひ立てるや、これにて全體の一致を得ざるは、蓋する原因からん。左れば今後は人の爲めに官を設くるは、一切止りにして、眞に必要な人を使用する事とし、一方には樞密院をも廢すべし。官中顧問若くは庶務顧問候などにも政治家を容るべからず。總て政府を攻撃すべき人柄を知り、之を強て之を政府内に引入て籠絡する可し。如き小政策を思ひ切り非常の英斷を以て此向きの人々を一掃し去り、政府の一體を縮小して所謂の小さな固るの方便を執るが一策あれば、若し之を實行し、能はざれば更に他の一奇策は、當時有爲の政治家と聞えたる大隈井上伊藤三伯の中を擧げて、總理大臣と爲し、現在の内閣員を悉く退けて、其代りに今の各省次官位を大臣とし、各省の政務は總て總理大臣の意を受けて實行するにとせんに、却て大臣同士の衝突も亦く無難に、財政の進捗し、政府は却て強固あるを得べし。或る人の説、○舉動の活潑に盡く 英領北米ニューファウンドランドの人民が、德業事件に關して本國と佛國間の取結びし條約に對し、本國政府の處置に満足せず、委員を派遣して事情を具陳せしめたる其苦情の詳細は未だ知る能はざり。然るに該委員は英國國會議員エヴン氏の助けを得て、舉動の活潑ありしが、當國務大臣に上書を呈せしめ、隨て目的を達するを得べきの勢を顯はしたるエヴン氏は三月二十四日を以て右委員を擧げて、駐日事務官に出頭し、大臣ナツツォール卿に面會せんとす。其請求したるに不在あるを以て、同省次官、野村君、オームス氏に面會せんとす。請求せり然るに氏は面會を拒みたるに、エヴン氏は直ちにニューファウンドランドへ向けて電報を發して、政府は委員に面會するものと拒絶したることを通知せんとす。其用意を爲したり。オームス氏は此事を傳へ聞きて大に周章し、エヴン氏等へは電報を發し、猶ほありたしと請求し、並に出納官、ゴッレムン氏及び大藏總務スミス氏に相談し、スミス氏よりは、駐日事務大臣の出先へ其趣を電報し、尙ほ取敢へず委員等に面會して成るべく其請願の行はるる様態力すべき旨を諭したりと云。

○難宮建設地調査の復申 内閣總理大臣より北海邊難宮へ石狩國上川郡に於て他日一都府を立て、難宮を改